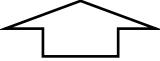


看護学科 カリキュラム・ツリー

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> DP 1 (どう在るか) 専門職としての倫理と責任の自覚 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> DP 2 (どう関わるか) 人間理解と専門職としての関係構築力の育成 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> DP 3 (どう考えるか) 看護の専門的知識を用いた科学的問題解決力の育成 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 目指す姿 </div>	・看護専門職としていかなる場においても自らを律し、適切な行動をとることができる	・看護の対象となる人々の価値観や背景を尊重しながら関わる ・あらゆる人々と、看護専門職としての関係を構築することができる	・情報を統合して問題を見いだせる ・優先順位を判断できる ・根拠を言語化できる
			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 3年次 (発展) </div>	看護と倫理Ⅱ(看護実践における倫理) 関係法規 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 看護と福祉	精神看護実習	地域・在宅看護実習 地域・在宅看護援助論Ⅱ(地域・在宅看護の実践) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 老年・小児・精神看護実習 老年看護援助論Ⅱ(健康逸脱からの回復を促す看護) 小児看護援助論 精神看護援助論Ⅰ(疾患と看護) 精神看護援助論Ⅱ(生活を支える看護)
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 2年次 (考え・動く) </div>		医療英語(選択)	急性・慢性・母性看護実習 臨床判断応用 急性期看護援助論 慢性期看護援助論 母性看護援助論 終末期看護論 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 看護過程論 臨床栄養学 急性期看護学概論 小児疾患学 慢性期看護学概論 母性学 がん看護論 マタニティサイクルと看護
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> 1年次 (基礎) </div>	基礎看護実習Ⅱ(人々の生活と健康を支援するしくみ) 看護と倫理Ⅰ(看護専門職としての倫理) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 平和と友愛論 日本国憲法(選択)	現代社会と家族 人間関係論(コミュニケーション含む) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 基礎看護実習Ⅰ(人々の健康と生活) 心理学(発達心理学含む) 看護学概論 英会話(選択)	人体の構造と機能Ⅰ-2 人体の構造と機能Ⅱ フィジカルアセスメント 臨床薬理学 臨床判断基礎 臨床検査学総論 治療学総論 栄養学 治療援助学 (食品学含む)(選択) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 人体の構造と機能Ⅰ-1 症候と病態 生化学 微生物学・免疫学

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> DP 4 (どう実践するか) 根拠に基づき安全・安楽に配慮した看護技術を提供する力の育成 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> DP 5 (どう支え・貢献するか) 多様な健康レベルにある対象への多職種チームケア力の育成 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> DP 6 (どう成長し続けるか) 看護専門職としての探求力・分析力・創造力の育成 </div>
<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位と時間管理を考慮し、複数の受け持ち患者に対して安全かつ正確に看護援助を実施できる ・多様な療養の場において、患者の安全・安楽・自立性に配慮した看護援助を実施することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・公的サービスに加え、本人・家族・地域の強みを活かした支援を考えることができる ・チームの一員として、役割を理解し協働する基礎的行動をとることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った就職先を主体的に選択し、自己決定することができる ・保健医療福祉制度の動向を読み取り、看護職の役割を考えることができる ・就職後の多様なキャリアの可能性を描き、その実現に向けた取り組みを自分の言葉で説明することができる
看護技術評価	地域・在宅看護実習 精神保健	総合看護実習 公衆衛生看護学
老年・小児看護実習 老年看護援助論Ⅰ (生活を整える看護)	専門職連携演習 地域・在宅看護援助論Ⅰ (在宅療養者と家族の看護)	看護研究
急性・慢性・母性看護実習 老年看護援助論Ⅰ (生活を整える看護)	小児保健	看護管理論
基礎看護実習Ⅲ (療養生活を支える看護) アセスメントと看護技術Ⅲ (治療援助技術) 医療と安全	地域・在宅看護概論	情報科学の応用 科学的思考論 災害看護学 公衆衛生学(衛生学及び予防医学含む)
アセスメントと看護技術Ⅱ (日常生活援助技術)	基礎看護実習Ⅱ (人々の生活と健康を支援するしくみ)	保健統計学基礎 組織論(選択) 生涯スポーツ実技(選択)
アセスメントと看護技術Ⅰ (看護技術の基盤)	地域生活論 ヘルスプロモーション論	アカデミック ICT リテラシー 情報科学の基礎 国際保健学 健康・スポーツ科学(選択)